

ご挨拶

(代表 高橋文穂)

明けましておめでとうございます。日頃から「街づくりを考える会」の活動に、ご理解・ご協力を賜り、会員一同厚く御礼申し上げます。

さて、平成17(2005)年4月に、「街づくりを考える会」が発足して、まもなく6年になります。これまで、毎月定例会を実施し、住民の基本認識、問題点・課題及び住民要望を把握するため、2006～2008年に三度の住民アンケートを実施し、この結果に基づいて、2009年度に「つくし野三丁目地区街づくりプラン(案)」の作成を行って、2010年7月、住民投票を行い、65.6%の賛成で、街づくりプラン案は、採択されました。本会は、この結果を得て直ちに町田市役所にプラン案の提案を行い、1月14日の町田市「街づくり審査会」で、承認の運びとなりました。今後の展開は、本ニュースの「当面のスケジュール」に記された通りですが、現在は街づくりの骨格が出来上がった所で、これから、本当の肉付け(具体化)を行ってゆくフェーズになりますので、街づくりにご関心をお持ちのたくさんの方々のご参加をお願いすると共に、今後も皆さんの絶大なご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

当面のスケジュール

- 地区街づくりプラン原案の告示・縦覧
2月中、2週間。縦覧場所は、まちづくり推進課
- 縦覧意見の整理
- 市議会(委員会)への報告(3月)
- 地区街づくりプラン策定完了(告示・縦覧)

◇ 街づくりフォーラム

2月11日13:20～、町田市民フォーラムにて
当会からパネル展示等

◇ 街づくり講演会(皆様ご参加ください)

2月20日 つくし野センター
講師: 鵜沢賢一氏(当会アドバイザー)

◇ 当会次回定例会 2月19日

☺ **他地区街づくり見学会**(1日バスツアー。参加費無料! 皆様ご参加ください。)

3月6日8:30 セントラルパーク防災倉庫前出発。
防災街づくりへの取組みで評価の高い国分寺市泉町三丁目地区住民との懇談、立川防災館等。参加ご希望の方には当日のスケジュール等をお渡します。2月20日までに、自治会班長又は当会代表、副代表までご連絡下さい。

報告事項

- 開票結果報告(ニュース3号)に対する質問(1件)への回答処理及び関連書類作成の後、「地区街づくりプラン案(憲章/目標・方針)」を市役所に提出しました。(11月)
- 「地区街づくりプラン原案」(注1)が街づくり審査会(注2)にて承認されました。(1月14日)

(注1) つくし野3丁目作成の「地区街づくりプラン案(憲章/目標・方針)」を基に町田市役所が作成した原案。自治会提出内容に加え今後の計画部分への取組み姿勢について若干の記載あり(現状を反映。)

(注2) 「町田市住みよい街づくり条例」に規定された市長の諮問機関。市長より委嘱された学識経験者、市内関係団体代表、町田市民から10名以内で構成される。

【審査会(1月14日18:00～20:00)の様様】

上記審査会には当会から2名(中条、佐々木)が傍聴した。審議概要等以下に記す。

- 付議事項は当会提案及び平和台まちづくり推進委員会提案の2件。他に小田急金森泉自治会街づくりを考える会から街づくり活動における進捗状況の報告。
- 当プラン原案: 大きな問題は指摘されず承認。主な質疑事項として以下があった。①位置及び区域については南つくし野とまたがる建物を除くため「つくし野三丁目の一部」と記されることの確認。②方針部分に挿入された家のイラストには

A、B、C、等と記され、数値を規定するかのイメージがあるとの指摘。市はそのような意味はないとの回答。

- その他: ①平和台は当初、目標・方針・計画の一括提案を目指していたが、計画部分についての面積加重を踏まえたアンケート調査で、敷地面積50坪以上の条項に2/3以上の賛同が得られず目標・方針部分の提案となったもの。計画の提案に至らなかったため、方針に記された制限を与える条項は、市の原案において削除されている。本件は市から住民に対し説明会を設けることで承認された。②小田急金森泉から、目標・方針・計画の一体提案の進捗状況が紹介された。既に6回の住民アンケートを実施、6回目は記名式で行った。数値を含む制限事項でも7割～8割の賛同を確認済み。敷地面積は120㎡以上(注3)を規定。市は、今後数値的規定を含む提案を受理する場合、住民への説明会を設けることとした。

(注3) 町田市では平成16年6月24日の用途地域の見直しに合わせて低層地域の敷地面積は120㎡以上となっている。これには一定の敷地条件のもと、分割後の1敷地のみ100㎡以上とすることができるの特例規定がある。本件は、この特例を無効にするもの。

編集後記: 審査会をパスしー安心だが、問題はこれから。憲章/目標・方針を具体化し、どなたからも支持が得られる実行力あるルール作りは大変難しい作業でしょう。進むにせよ、留まるにせよ、何よりも、地域住民の関心と熱意、そして知恵と発言が支えです。(佐々木)